

千葉県漁業調整委員会の委員候補者の推薦及び応募状況（最終公表）

1 漁業者又は漁業従事者委員（別添欄、以下同様）

No	推薦を受けた者又は応募した者					推薦をした者（個人）		推薦をした者（法人又は団体）				推薦又は応募の理由						
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営の状況		氏名	職業	年齢	性別		名称	目的	代表者又は 管理人の氏名	構成員の数	構成員たる資格 その他の当該推薦をする者 の資格を明らかにする事項	
						漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	漁業の種類											漁業経験年数
1	中村 繁久	漁業	63	男	昭和54年4月～現在	中型まき網漁業に従事	45年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	千葉県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	代表 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	中村 繁久氏は、45年間にわたり、まき網漁業に従事しており、まき網漁業の資源管理に積極的に取り組んでいるほか、スズキを伸縮網にして鮮度・品質の向上を図り、ブランド化にも尽力している。 同氏が所属する船橋市漁協では、まき網漁業のほか、小型船びき網漁業、刺し網漁業、採貝漁業、のり養殖業など多種多様な漁業が営まれている中、組合長に就任し、地域の指導・調整にも尽力されていることから、内湾地区の漁業者を代表する海区漁業調整委員として適任である。
					昭和54年4月～現在	有限会社中仙丸 入社												
					令和3年6月～現在	船橋市漁業協同組合 理事												
					令和6年1月～現在	船橋市漁業協同組合 代表理事組合長												
2	高橋 敏夫	漁業	71	男	昭和51年4月～現在	のり養殖・採貝漁業に従事	48年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	千葉県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	代表 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	高橋 敏夫氏は、48年間にわたり、のり養殖業・採貝漁業に従事しており、内湾地区の漁業に精通している。 同氏が所属する金田漁協では、小型船びき網漁業、刺し網漁業、採貝漁業、のり養殖業などの漁業が営まれている中、組合長として地域の指導・調整にも尽力しているほか、千葉県漁業をはじめ、県域の水産中央団体の要職を務めていることから、内湾地区の漁業者を代表する海区漁業調整委員として適任である。
					平成21年6月～現在	金田漁業協同組合 理事												
					令和元年6月～現在	金田漁業協同組合 代表理事組合長												
					令和3年6月～現在	日本漁船保険組合千葉東支所 運営委員												
					令和4年6月～現在	東日本信用漁業協同組合連合会 委員												
3	佐久間 國治	漁業	76	男	昭和38年4月～現在	潜水器漁業に従事	60年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	千葉県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	代表 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	「佐久間 國治氏は、60年間にわたり、潜水器漁業などに従事しており、東京湾の漁業や漁場環境を熟知している。 同氏が所属する高津漁協では、小型船びき網漁業、刺し網漁業、さきり船びき網漁業、採貝漁業、のり養殖業などの漁業が営まれている中、長年により組合長を務め、地域の指導・調整に尽力しているほか、目標をはじめとした東京湾の水産資源の管理や漁場環境の保全に積極的に取り組んでいる。 また、同氏は千葉県漁業をはじめ、県域の水産中央団体の要職を歴任しているほか、千葉県漁業調整委員を2期6回にわたり務めており、海区漁業調整委員としての職責を十分理解し、本県漁業の振興・発展に対し高い意欲を有していることから、海区漁業調整委員として適任である。
					平成5年8月～平成14年5月	千葉県漁業調整委員会 委員												
					平成20年8月～現在	高津漁業協同組合 代表理事組合長												
					平成21年6月～現在	(一社) 千葉県漁港漁協協会 理事												
					平成25年6月～現在	(一財) 千葉県漁業振興基金 理事長												
					平成25年6月～現在	千葉県漁業協同組合連合会 副会長理事												
					平成26年6月～現在	(公財) 千葉県水産振興公社 理事												
					平成27年2月～現在	千葉県水産振興審議会 委員												
4	平島 孝一郎	漁業	75	男	昭和42年4月～昭和48年5月	家業の孝安丸に従事	57年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	千葉県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	代表 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	平島 孝一郎氏は、50年以上にわたり、魚類養殖業や刺し網漁業等に従事しており、内湾地区の漁業に精通している。 同氏が所属する鋸形町山漁協では、釣り漁業、刺し網漁業、定置網漁業、採貝・採藻漁業、魚類養殖業など多種多様な漁業が営まれている中、組合長として地域の指導・調整に尽力している。 また、同氏は県域の水産中央団体の要職を歴任しているほか、千葉県漁業調整委員を2期務めており、海区漁業調整委員としての職責を十分理解し、本県漁業の振興・発展への意欲も高いことから、海区漁業調整委員として適任である。
					昭和48年6月～平成10年4月	(有) 孝安丸漁運に従事												
					平成10年5月～平成27年1月	(有) 孝安丸、代表取締役												
					平成11年4月～令和5年4月	鋸形町議会議員												
					平成16年6月～現在	鋸形町山漁業協同組合 代表理事組合長												
					平成16年6月～現在	全国漁業信用基金協会千葉支所 運営委員												
					平成19年2月～平成29年2月	千葉県水産振興審議会 委員												
					平成23年6月～令和3年3月	千葉県信用漁業協同組合連合会 代表理事会長												
					平成28年6月～現在	J F 共水産関東東海事業本部千葉支店 運営委員												
					平成28年8月～現在	千葉県漁業調整委員会 委員												
					平成29年4月～現在	日本漁船保険組合千葉東支所 副運営委員長												
令和3年4月～現在	東日本信用漁業協同組合連合会 経営管理委員会会長																	
5	鈴木 直一	漁業	76	男	昭和43年8月	(有) 勇勝丸漁業 代表取締役	56年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	千葉県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	代表 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	鈴木 直一氏は、50年以上にわたり、さば・さんま漁業に従事しており、内湾地区の漁業に精通している。 同氏が所属する岩井富漁協では、さば漁業、さんま採受網漁業、釣り漁業、刺し網漁業、採貝・採藻、定置網漁業、あわび養殖業など多種多様な漁業が営まれている中、組合長として地域の指導・調整に尽力している。 また、同氏は県域の水産中央団体の要職を歴任しているほか、千葉県漁業調整委員を4期務めており、海区漁業調整委員としての職責を十分理解し、本県漁業の振興・発展への意欲も高いことから、海区漁業調整委員として適任である。
					平成3年4月～平成20年5月	(有) 勇勝丸漁業 代表取締役												
					平成13年4月～現在	岩井町市議会議員												
					平成19年3月～平成26年12月	高瀬町漁業協同組合 代表理事組合長												
					平成20年6月～令和4年12月	安房さば・さんま漁業生産組合 組合長理事												
					平成20年8月～現在	千葉県漁業調整委員会 委員												
					平成24年6月～現在	千葉県漁業協同組合連合会 副会長理事												
					平成27年1月～現在	岩井富漁業協同組合 代表理事組合長												
平成29年2月～現在	千葉県水産振興審議会 委員																	
6	佐藤 光男	漁業	74	男	昭和48年4月	海士漁業に従事	51年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	千葉県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	代表 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	佐藤 光男氏は、50年以上にわたり、採貝漁業（海士）等に従事しており、輪播方式によるアワビの増殖活動に取り組むなど、地域の安定した漁業生産に尽力している。 同氏が所属する東安房漁協では、まき網漁業、はえ縄漁業、刺し網漁業、釣り漁業、採貝・採藻漁業、定置網漁業など多種多様な漁業が営まれている中、組合長として地域の指導・調整に尽力している。 また、同氏は県域の水産中央団体の要職を歴任しているほか、千葉県漁業調整委員を3期務めており、海区漁業調整委員としての職責を十分理解し、本県漁業の振興・発展への意欲も高いことから、海区漁業調整委員として適任である。
					平成23年7月～現在	東安房漁業協同組合 代表理事組合長												
					平成24年6月～現在	千葉県漁業協同組合連合会 理事												
					平成24年6月～現在	(一社) 千葉県漁港漁協協会 監事												
					平成24年8月～現在	千葉県漁業調整委員会 委員												
					平成26年3月～令和3年3月	千葉県水産振興審議会 釣り漁業・資源管理部会 委員												
					平成28年6月～現在	千葉県漁業共済組合 副組合長理事												
平成28年6月～現在	J F 共水産関東東海事業本部千葉支店 副運営委員長																	
7	松本 めい子	漁業	75	女	昭和45年4月～昭和47年3月	千葉県銀行 入行	52年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	千葉県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	代表 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	松本 めい子氏は、50年以上にわたり、まき網漁業に従事しており、安房地区の漁業に精通している。 同氏が所属する鴨川市漁協では、まき網漁業、刺し網漁業、はえ縄漁業、釣り漁業、採貝・採藻漁業、定置網漁業など多種多様な漁業が営まれている中、組合長として地域の指導・調整に尽力している。 また、同氏は県域の水産中央団体の要職を歴任しているほか、千葉県漁業調整委員を2期務めており、海区漁業調整委員としての職責を十分理解し、本県漁業の振興・発展への意欲も高いことから、海区漁業調整委員として適任である。
					昭和47年4月～昭和55年12月	家業の共進丸に従事												
					昭和56年1月～平成28年10月	共進丸漁業株式会社 取締役												
					平成28年11月～現在	共進丸漁業株式会社 代表取締役												
					平成16年6月～現在	鴨川市漁業協同組合 代表理事組合長												
					平成23年6月～令和元年5月	千葉県信用漁業協同組合連合会 理事												
					平成28年8月～現在	千葉県漁業調整委員会 委員												
					平成29年6月～令和3年6月	(一財) 千葉県漁業振興基金 理事												
					令和元年6月～令和3年3月	千葉県信用漁業協同組合連合会 代表監事												
					令和3年4月～現在	東日本信用漁業協同組合連合会 千葉東マリンバンク運営委員												
令和3年9月～現在	千葉県水産振興審議会 釣り漁業・資源管理部会 委員																	
8	酒井 光弘	漁業	63	男	昭和57年4月～現在	釣り漁業に従事	42年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	千葉県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	代表 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	酒井 光弘氏は、40年以上にわたり、釣り漁業に従事しており、外湾地区の漁業に精通している。 同氏は千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合の組合長として、沿海地区漁協と連携して、ケンゲイやクロマグロなどの資源管理に積極的に取り組むほか、小型漁船漁業の操業秩序の維持など、指導・調整に尽力しており、外湾地区の漁業者を代表する海区漁業調整委員として適任である。
					昭和22年11月～現在	千葉県指導漁業士 認定												
					平成29年7月～現在	千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合 理事												
					令和5年6月～現在	千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合 代表理事組合長												
9	石井 春人	漁業	74	男	昭和43年4月	興津水産株式会社 入社	56年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	千葉県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	代表 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	石井 春人氏は、50年以上にわたり、釣り漁業に従事しており、夷陽地区の漁業に精通している。 同氏が所属する勝浦漁協では、はえ縄漁業、釣り漁業、刺し網漁業、採貝・採藻漁業などの漁業が営まれている中、組合長として地域の指導・調整に尽力している。 また、同氏は県域の水産中央団体の要職を歴任しているほか、千葉県漁業調整委員を3期（うち1期は会長）、専門委員を2期務めており、海区漁業調整委員としての職責を十分理解し、本県漁業の振興・発展への意欲も高いことから、海区漁業調整委員として適任である。
					昭和47年1月～現在	小型漁船漁業に従事												
					平成5年6月～平成23年5月	千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合 理事												
					平成23年6月～現在	千葉県漁業協同組合 代表理事組合長												
					平成24年6月～現在	日本漁船保険組合千葉東支所 運営委員												
					平成24年8月～現在	千葉県漁業調整委員会 委員												
					平成25年6月～現在	(一社) 千葉県漁港漁協協会 副会長												
平成26年3月～現在	千葉県水産振興審議会 釣り漁業・資源管理部会 委員																	

10	小瀬山 喜一郎	漁業	71	男	昭和48年4月	長栄丸漁業株式会社 入社	・中瀬まき網漁業	51年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	—	千歳県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	坂本 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	小瀬山 喜一郎氏は、50年以上にわたり、まき網漁業に従事しており、まき網漁業の資源管理のほか、生産組合を設立して協働化を進め、経営の合理化にも取り組んでいる。 同氏が所属する中瀬まき網漁業では、まき網漁業のほか、小型底びき網漁業、採貝漁業などの漁業が営まれている中、組合長として地域の指導・調整に尽力している。 また、同氏は千葉県漁連をはじめ、県民の水産中央団体の要職を歴任しているほか、千葉県漁業調整委員会1期、専門委員会を3期務めおり、海区漁業調整委員会としての職責を十分理解し、本県漁業の振興・発展への意欲も高いことから、海区漁業調整委員会として適任である。
					平成22年11月～現在	九十九里まき網漁業生産組合 理事														
11	坂本 雅信	漁業	65	男	平成22年6月～現在	九十九里漁業協同組合 代表理事組合長	・沖合むぎ網漁業	30年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	—	千歳県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	坂本 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	坂本 雅信氏は、30年間にわたり、沖合むぎ網漁業に従事しており、鏡子地区の漁業に精通している。 同氏が所属する鏡子市漁協では、まき網漁業、底びき網漁業、さんま枠網漁業、かじき等流し網漁業、はえ縄漁業、刺し網漁業、釣り漁業など多種多様な漁業が営まれている中、組合長を務めるほか、沖合むぎ網漁業の生産組合の設立など、地域の指導・調整に尽力している。 また、千葉県漁連などの県民の水産中央団体とどまらず、全漁連会長をはじめ、複数の全国団体の要職を歴任し、水産業界をけん引するリーダーとして活躍している。 なお、同氏は千葉県漁業調整委員会を3期、専門委員会を1期務めおり、海区漁業調整委員会としての職責を十分理解し、本県漁業の振興・発展への意欲も高いことから、海区漁業調整委員会として適任である。
					平成22年6月～現在	全国漁業信用基金協会千歳支所 運営委員														
12	和田 一夫	漁業	70	男	昭和47年4月	東家の角乃水産有限会社に従事	・さんま等流し網漁業 ・かじき等流し網漁業	52年	漁業者又は漁業従事者	—	—	—	—	—	千歳県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	坂本 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	和田 一夫氏は、50年以上にわたり、さんま枠網漁業等に従事しており、鏡子地区の漁業に精通している。 同氏が所属する鏡子市漁協では、まき網漁業、底びき網漁業、さんま枠網漁業、かじき等流し網漁業、はえ縄漁業、刺し網漁業、釣り漁業など多種多様な漁業が営まれている中、副組合長として地域の指導・調整に尽力している。 また、同氏は県民の水産中央団体の要職を歴任しているほか、千葉県漁業調整委員会を2期務めたり、海区漁業調整委員会としての職責を十分理解し、本県漁業の振興・発展への意欲も高いことから、海区漁業調整委員会として適任である。
					平成21年6月	鏡子市漁業協同組合 理事														

## 2 学識経験者

No	氏名	職業	年齢	性別	推薦を受けた者又は応募した者		推薦をした者(個人)		推薦をした者(法人又は団体)			推薦又は応募の理由					
					経歴	学識経験又は専門分野に関する実績など	漁業者又は漁業従事者であるか 否かの別	氏名	職業	年齢	性別		名称	目的	代表者又は 管理人の氏名	構成員の数	構成員たる資格 その他の当該推薦をする者の 資格を明らかにする事項
1	黒沼 吉弘	大学教員	68	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和55年3月</li> <li>昭和60年12月</li> <li>平成4年7月</li> <li>平成元年3月～平成5年2月</li> <li>平成4年7月～平成5年3月</li> <li>平成5年4月～平成12年3月</li> <li>平成6年2月～平成12年3月</li> <li>平成7年1月～平成13年7月</li> <li>平成12年4月</li> <li>平成14年4月～現在</li> <li>平成18年4月～平成26年3月</li> <li>平成24年8月～現在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿児島大学大学院水産学研究科 修了(水産学修士)</li> <li>〔米国〕ハワイ大学大学院農業・資源経済学研究所 修了(農業・資源経済学修士)</li> <li>〔鹿州〕クワンズンズン大学大学院経済学研究科 修了(平成5年2月経済学博士)</li> <li>「TAC制度下の漁業管理」(共著)、「水産資源・漁業の管理技術」(共著)、「世界の漁業管理 下巻」(共著)等 著書13冊、論文、解題50件</li> <li>OECD水産委員会日本代表委員、同水産委員会専門家会合委員、同編集委員</li> <li>FAO水産専門家会合委員</li> <li>TAC制度等の検討に関わる有識者懇談会参加者(水産庁)</li> <li>コミュニティ漁業管理研究コーディネータ(水産庁)</li> <li>全国資源管理会議漁業推進会議専門アドバイザー(水産庁)</li> <li>漁業経済学会理事、編纂委員</li> <li>千葉県漁業調整委員会 学識経験者委員</li> <li>千葉県資源管理計画策定調査検討会委員</li> </ul>	否	—	—	—	—	千歳県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	坂本 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	黒沼 吉弘氏は、現在、大学・大学院において共有資源、特に海洋生物資源などの適正利用や地域の課題などを研究分野として教鞭を執っている。 同氏は、水産庁中央水産研究所経営経済部漁業経済研究室長、OECD水産委員会日本代表委員、FAO水産専門家会合委員を務めてきたほか、TAC制度などの漁業管理に関する複数の著書を執筆し、国内外の漁業制度等に関する多数の研究論文を発表するなど、学識経験者に必要な資源管理及び漁業経営に関する知識・経験が豊富である。 また、〔千葉県漁連サテライト漁場における漁場自主管理〕の調査報告をとりまとめるなど、本県の漁業実態にも明るく、千葉県漁業調整委員会を3期務め、海区委員としての意欲や責任感も十分にあることから、海区漁業調整委員会として適任である。
2	藤原 克二郎	団体役員	61	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和62年3月</li> <li>昭和62年4月</li> <li>令和5年4月～令和6年3月</li> <li>令和6年6月～現在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業調整、漁業許可に関する業務に従事(平成10～14年、平成20～24年)</li> <li>漁業経営指導に関する業務に従事(昭和62～平成2年、平成7～10年、平成14～20年、平成24～26年)</li> <li>水産増殖、資源管理に関する業務に従事(平成5～7年)</li> </ul>	否	—	—	—	—	千歳県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	坂本 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	藤原 克二郎氏は、千葉県職員として漁業調整、漁業経営指導、水産増殖など、水産行政の幅広い業務に携わってきた経歴があり、学識経験者の必要な資源管理及び漁業経営に関する知識・経験が豊富である。 また、千葉県職員として長年、千葉県の水産業の振興に取り組んできたことから、本県の漁業実態を熟知しており、指導・調整能力にも長け、海区委員として職務を適切に行うことが十分に期待できることから、海区漁業調整委員会として適任である。

## 3 中立委員

No	氏名	職業	年齢	性別	推薦を受けた者又は応募した者		推薦をした者(個人)		推薦をした者(法人又は団体)			推薦又は応募の理由						
					経歴	学識経験又は専門分野に関する実績など	漁業者又は漁業従事者であるか 否かの別	氏名	職業	年齢	性別		名称	目的	代表者又は 管理人の氏名	構成員の数	構成員たる資格 その他の当該推薦をする者の 資格を明らかにする事項	
1	本田 直久	団体役員	66	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和55年3月</li> <li>昭和55年4月</li> <li>平成元年4月</li> <li>平成3年4月</li> <li>平成11年4月</li> <li>平成14年4月</li> <li>平成16年4月</li> <li>平成19年4月</li> <li>平成19年5月</li> <li>平成21年4月</li> <li>平成25年3月</li> <li>平成25年7月</li> <li>平成27年7月</li> <li>平成28年8月～現在</li> <li>平成29年4月～現在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都大学農学部水産学科 卒業</li> <li>水産庁 入庁</li> <li>鳥取県農林水産部 参事</li> <li>水産庁漁政部企画課 課長補佐</li> <li>長崎県水産部 参事監</li> <li>水産庁漁政部企画課 首席企画官</li> <li>長崎県 水産部長</li> <li>水産庁増殖推進部研究指導課 海洋技術室長</li> <li>内閣府 内閣参事官</li> <li>水産庁漁場整備部 防災漁村課長</li> <li>水産庁 退職</li> <li>漁協保険中央会 相談役</li> <li>漁協保険中央会 常務理事</li> <li>千葉県漁業調整委員会 委員</li> <li>日本漁船保険組合 常務理事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産庁において水産行政に従事(昭和55年～平成25年)</li> <li>鳥取県において水産行政に従事(平成元～3年)</li> <li>長崎県において水産行政に従事(平成11～14年及び平成16～19年)</li> <li>千葉県漁業調整委員会委員に選任(平成28～現在)</li> </ul>	否	—	—	—	—	千歳県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産効率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	坂本 雅信	正会員27会員 准会員4会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合等	本田 直久氏は、水産庁において長年、水産行政に携わってきたほか、地方自治体でも水産行政を経験し、漁業制度をはじめとした水産行政全般にわたり豊富な知識・経験を有している。 また、千葉県漁業調整委員会を2期務めたり、本県の漁業実態にも明るく、海区委員としての意欲や責任感も十分にある。 さらに、同氏は、海区漁業調整委員会の所掌に属する事項に関し利害関係を有しており、中立的な立場から海区漁業調整委員会を議論をサポートできることから、海区漁業調整委員会として適任である。